

各位

会社名 株式会社大和証券グループ本社
 代表者名 執行役社長 中田 誠司
 (コード番号 8601 東証・名証(第1部))

2021年度 大和証券グループ経営方針 ～ Passion for the Best ～

2020年度はコロナ禍の影響により激動の1年であった。株式市場においてはコロナショックからの脱却に始まり、ワクチンの実用化、企業業績の回復期待を背景として、日経平均株価が30年振りに3万円台を回復する等、記録的な相場となった。

当社グループにおいてはDX推進によるお客様への機動的な対応、ニューノーマル時代における柔軟な働き方の実現に向けたインフラ整備を進め、新たな時代への礎を築いた重要な年であった。更に、コロナ禍を契機としたサステナブルファイナンスへの関心の一層の高まりにより、企業と投資家の架け橋である証券グループとしての社会的使命を再認識し、SDGs及びESG推進の必要性を強く自覚した1年でもあった。

未曾有の危機を経験し、世界が新しい生活様式へと移行していく中、当社グループは未来を共に創るベストパートナーとして尽力すべく2023年度までを対象期間とした新グループ中期経営計画～“Passion for the Best”2023～を策定した。

クオリティ No.1 を体現し、ハイブリッド戦略を通じた価値創造をより明確に推進すると共に、多様な場面における「デジタルとリアルへのベストミックス」を追求、お客様に安心と利便性を提供することで、全てのステークホルダーに満足いただける付加価値の提供を目指す。

初年度となる2021年度は、お客様の最善の利益追求に向けたビジネスモデルの更なる浸透、新時代における企業の成長戦略への支援、新たな事業領域における成果等をテーマにアクションプランの着実な実行を目指す。

大和証券グループは全てのステークホルダーに必要とされる存在となるべく、サステナブルで豊かな社会の実現のための新たな資金循環の仕組みづくりにグループを挙げて取り組んでいく。

各事業部門のアクションプラン

リテール部門

1. 資産管理型ビジネスモデルの実現
2. お客様ニーズを捉えた商品・サービスの提供、総資産アプローチによるソリューションビジネスの拡大
3. デジタルとリアルとの融合による顧客接点の拡大とコスト最適化
4. 外部チャネルを活用したニュービジネス展開と収益化

ホールセール部門

1. お客様ニーズを捉えた多様なプロダクト・高度なソリューションの提供
2. アジアのリージョナル・ブローカーとしての汎アジアビジネス基盤拡大
3. SDGs 関連ファイナンスの促進による企業のサステナビリティ支援
4. デジタルを活用した機動性・サービスクオリティの向上

アセット・マネジメント部門

1. 運用力・発掘力・商品アレンジ力強化による既存事業の拡大・高度化
2. 新ビジネスの研究開発・事業化。ESGに立脚した会社運営への移行
3. 不動産アセット・マネジメント事業における資産運用力強化及び事業基盤の確立
4. グループ内連携による新たな不動産投資商品の検討など不動産ビジネスの推進

投資部門

1. 優良な投資機会の発掘、投資先のバリューアップ及びモニタリング体制の強化
2. エネルギー分野でのキャピタルリサイクリングモデルの推進
3. 継続的なVCファンド運用ビジネスの確立
4. SDGsを意識した社会的意義のある投資対象の開拓

その他(大和総研グループ)

1. ITサービスのプラットフォーム化やAI・データサイエンスによる新たな価値の創出
2. 高品質で安定的なサービスを低コストで提供することで、大和証券グループのコストダウンへ貢献
3. システム・リサーチ・コンサルティング連携を通じた新規顧客の獲得、新たな事業の展開による外販収益の拡大
4. 情報発信と情報収集・意見交換との好循環を起こしてリサーチクオリティを向上する

その他(大和ネクスト銀行)

1. 競争力ある金利の提供と魅力ある新商品・新サービスの提供
2. グループ内連携の更なる強化、融資案件をはじめとした新たなビジネスの実行
3. 運用の多様化
4. 応援定期預金の残高拡大やESG投融資の促進等への取り組み

以上